

新潟大学創立75周年記念

新潟地震60年・新潟県中越地震20年

大震災と新潟大学

Great Earthquake and Niigata University



本年は1964年6月16日の新潟地震から60年、
2004年10月23日の新潟県中越地震から
20年の節目にあたります。

この企画展では、こうした大震災にあたり
新潟大学が地域の中でどのような役割を
果たしてきたかを紹介するとともに
ふたたび大災害が起こったときにもけて
大学と地域の連携について考えていきます。

2024

6/1^(土) Sat ▶

8/25^(日) Sun

1964年新潟地震 万代橋東詰(中村勝典氏撮影)



新潟大学
旭町学術資料展示館
Niigata University Asahimachi Museum



主催:新潟大学旭町学術資料展示館
共催:新潟大学災害・復興科学研究所 新潟大学医学部災害医療教育センター
新潟歴史資料救済ネットワーク 新潟大学人文学部附置地域文化連携センター
協力:長岡市歴史文書館 長岡市立科学博物館

繰り返す大災害。 新潟大学は多面的にこれらと向き合ってきた。

プロローグ：歴史の中の地震

人々は地震などの災害を様々に記録してきました。

1. 被害調査・メカニズムの解明

新潟大学では、新潟地震の発生を受け、理学部地質学教室で詳細な被害調査をおこない、地震のメカニズムの解明に力を尽くしました。その流れは災害・復興科学研究所に引き継がれ、中越地震・中越沖地震・東日本大震災・能登半島地震等の災害時にいち早く調査を行い、地震発生のメカニズムの解明に力を注いでいます。

2. 災害医療支援

新潟大学医学部・医歯学総合病院の災害医療支援は、1923年関東大震災での医療隊派遣以来の歴史を持ちます。新潟地震に際しても災害医療チームが組織され、新潟県中越地震は医療支援の質の向上の大きなきっかけになりました。その後DMATの組織、災害医療人材の養成など最先端を進んでいます。

3. 歴史資料レスキュー

1995年の阪神・淡路大震災以来、被災地域のアイデンティティ復興の要となる歴史資料の救済・保全の重要性が、知られるようになりました。2004年の新潟県中越地震では、新潟大学に事務局をおき、県内外の博物館・文書館スタッフや有志の個人を繋ぐ「新潟歴史資料救済ネットワーク」が結成され、小千谷や山古志で活動しました。それ以降、様々な災害への対応が続けられています。

エピローグ：これから

本年1月1日に発生した能登半島地震では、新潟県内でも新潟市内を中心に大きな被害が出ました。新潟大学の各グループは今も地域の中に出て活動を続けています。



1.「北越地震実録」(新潟大学附属図書館蔵) 2.災害研による中越地震現地調査 3.ヘリを活用した災害医療支援訓練 4.関東大震災 新潟医科大学救護班 5,6.中越地震山古志村での歴史資料レスキューの様子

ギャラリートーク

会場：新潟大学旭町学術資料展示館

「新潟大学における地震研究の歴史とこれから」

2024年6月29日(土)14:00-15:00

講師：ト部 厚志 新潟大学災害・復興科学研究所教授

「新潟大学が日本の災害医療に果たしてきた役割とは」

2024年7月20日(土)14:00-15:00

講師：高橋 昌 新潟大学大学院医歯学総合研究科

災害医学・医療人育成分野特任教授

「災害時に地域歴史資料のレスキューがもつ意味とは」

2024年8月18日(日)14:00-15:00

講師：原 直史 新潟歴史資料救済ネットワーク事務局長 新潟大学人文学部教授

定員：各日20名 参加無料・要申込

参加方法：①参加申込フォーム(右QRコードより)

②TEL.025-227-2260まで



新潟地震60年・中越地震20年公開シンポジウム ーそなえる・すくう・たちがあがるー

2024年6月23日(日)13:00-17:30(開場12:30)

会場：新潟大学五十嵐キャンパス 中央図書館ライブラリーホール ※駐車場なし

「新潟平野の地震活動の特徴」 ト部 厚志 新潟大学災害・復興科学研究所教授

「1964年新潟地震の記憶」 菅瀬 亮司 新潟郷土史研究会会長 元新潟県立文書館副館長

「新潟歴史資料救済ネットワークの20年」 矢田 俊文 新潟大学名誉教授

「新潟県内の仏像・神像保存の現状と課題」 松岡 誠一 仏像文化財修復工房

「震災復興から地域おこしまでの道のり」 竹内 春華 山古志住民会議

「1964年新潟地震とその復興の歴史的位置ー『開発の時代』における意味と課題を考えるー」

中村 元 新潟大学人文学部教授

コーディネーター：原 直史 新潟歴史資料救済ネットワーク事務局長 新潟大学人文学部教授

主催：新潟歴史資料救済ネットワーク

共催：新潟史学会 新潟大学人文学部附属地域文化連携センター

参加費：500円(資料代)・予約不要

お問合せ：新潟大学人文学部原直史研究室

TEL.025-262-6445 E-mail hara@human.niigata-u.ac.jp



詳細はこちら



新潟大学 旭町学術資料展示館

Niigata University Asahimachi Museum

〒951-8122 新潟市中央区旭町通2番町746 TEL.025-227-2260

2-746 Asahimachi-dori Chuo-ku Niigata

開館時間：水～日曜日 10:00～12:00, 13:00～16:30

休館日：月・火曜日、8/14(水)～16(金)

入館料：無料 駐車場：5台

Opening hours: Every Wed to Sun 10:00～12:00, 13:00～16:30 / Admission free



真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY



www.lib.niigata-u.ac.jp/tenjikan/



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。